令和7年度 須賀川市立第二中学校区小中一貫教育グランドデザイン《施設分離型》

小小連携
児童生徒の交流
保護者の交流
教員の交流
授業研究会

須賀川市立第二小学校
須賀川市立阿武隈小学校
須賀川市立柏城小学校

９年間をとおして求める児童・生徒像
「自己解決力」を育み、夢や目標の実現に向かってたくましく生きる子ども
○　やさしさをもち、かけがえのない命を大切にすることができる

子どもの自尊意識を高め、一人一人の個性や生き抜く力を育む「小中一貫教育」須賀川モデルの推進

小中一貫教育 → 須賀川市立第二中学校

学力向上

知

○授業・学習規律の維持徹底
○基礎学力の向上（読む力・書く力・計算力）
○家庭学習の習慣化

1　小中で共通したスタイルの授業を行います
・グループ学習における「話し合い」「学び合い」活動の充実
2　小中で教科のつながりを意識した授業を行います
・９年間を貫く主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
3　学習の規律を徹底します
・「授業の約束」の徹底
・９年間における「授業の約束」の発達段階の分析・指導
4　学力調査等を分析し授業に生かします
・客観的調査の結果分析（福島県・全国の学力調査分析）
・学力調査の経年変化調査分析
・具体策を明確にした学力向上プランの作成
5　学習習慣を確立します
・学習の手引の作成・指導・改善
・家庭学習の習慣化
6　出前授業を行います
中学校教員の小学校への派遣（年間２回）
7　授業と授業研究を第一優先にし、小中学校４校による「小中一貫教育互見授業」を実施します。４校全教職員の授業改善を図ります。

小中の接続を円滑化・充実させる取組
○　教員交流研修の実施
○　「中学校生活を聞く会」の実施
○　小・中学校の部活動交流
○　児童会・生徒会交流会の実施
○　新入生保護者説明会（小６児童の保護者対象）
○　小・中教職員による情報交換（引き継ぎ）
○　中学校の授業を体験する出前授業

家庭との連携：４校ＰＴＡ代表者会
「家庭教育１０の誓い」の実践・評価

授業と授業研究を第一優先にし、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進します
９年間を系統立てたキャリア教育、ふるさと学習を進め、望ましい職業観・勤労観を身に付けさせます

進路実現・自己実現

義務教育９年間のまとめの時期
中３
中２
知　自ら学ぶ態度と他者と協働して追究する課題解決力の育成
徳　下級生の模範となる高い意識と実践力の育成
体　自らの課題を自覚し，改善する能力の育成

学力向上や中１ギャップ等の解消を図る時期
中１
小６
小５
知　身に付けた知識・技能の活用と論理的な思考力の育成
徳　自ら考え判断し行動する能力の育成
体　望ましい運動習慣・生活習慣の確立

学習習慣や生活習慣の確立の時期
小４
小３
小２
小１
知　学習規律の定着と基礎的・基本的な事項の習熟
徳　自他の尊重と規範意識の育成
体　基本的な生活習慣の定着と運動への意識の向上

小中一貫教育を推進する主な組織
○　須賀川二中学区校長教頭連絡会
○　須賀川二中学区小中一貫連絡会（事務局：須二中）
○　各部会（学力向上部：事務局＝阿武隈小，生徒指導部：事務局＝柏城小，健康教育部：事務局＝須二小，事務部：事務局＝須二中）
＊小学校の各部　３年ローテション３年次

小・中学校教職員が、子どもの指導法を共有し、９年間の「学びの連続性」を意識して指導にあたります
学力向上部・生徒指導部・健康教育部の３部会による９年間を見通した共通指導事項で、教育の質を高めます

生徒指導

徳

○規範意識の涵養と社会性の育成
○人間関係力の育成

1　基本的習慣を確立します
・あいさつ運動の推進
・小中学校における「生活のきまり」の具体的な共通事項の洗い出しと実践
2　児童生徒をよく理解し支援を強化します
・自尊感情を高める指導・支援の工夫
・ネット端末の利用における共通した考え方の確立
・通学路の安全確保・危険箇所の共有化
3　小中の特別支援教育の効果的な連接を目指します
・事例研究による支援指導法の研究
・「個別の指導計画」の効果的な活用法の研究
4　生徒指導担当者会議開催（年間２回）

健康教育

体

○基本的生活習慣の定着
○健康・体力づくり
○食育の推進
家庭と連携強化

1　体力の向上を図ります
・体力・技術の向上
・部活動見学会の実施
2　保健指導を充実します
・主体的に健康生活を実践できる児童生徒の育成（生活習慣の改善、心の健康等）
・家庭との連携（おたより、授業参観等）
3　食育を推進します
・食育の推進（朝食摂取・食習慣の育成）
・地産地消に関わる情報の共有化
・栄養教諭の小学校への派遣

地域との連携：４校合同学校評議員会
地域人材の積極的活用と地域人材バンクの設置と運用